

慶應義塾大学 総合政策学部、環境情報学部、政策・メディア研究科
ドイツ語 専任教員・教員（有期）募集

総合政策学部、環境情報学部、政策・メディア研究科では、ドイツ語を担当する専任教員・教員（有期）を募集いたします。

募集要項

- | | |
|-------------|--|
| 1. 機関名・部署名 | 慶應義塾大学
総合政策学部、環境情報学部、政策・メディア研究科 |
| 2. 所在地 | 神奈川県藤沢市遠藤 5322 |
| 3. 職種 | 専任教員または教員（有期）（職種・職位は年齢や業績により決定） |
| 4. 待遇 | 給与は慶應義塾の規程に基づき、年齢・学歴・職歴等により決定
社会保険加入、通勤交通費補助、赴任時旅費補助 |
| 5. 勤務形態 | 常勤 |
| 6. 人員 | 1名 |
| 7. 研究分野 | ドイツ語教育、ドイツ語圏の言語、文化、社会に関する研究 |
| 8. 担当科目 | 学部言語科目、学部講義科目、学部研究会、大学院科目等 |
| 9. その他の業務内容 | 塾内各種委員会委員、諸会議出席等。 |
| 10. 応募資格 | <ol style="list-style-type: none">1. 湘南藤沢キャンパス（SFC）の教育・研究理念に共感する。2. ドイツ語教育、ドイツ語圏の言語、文化、社会に関する研究領域における博士の学位を有するか、採用時に取得見込みがある。あるいはそれと同等以上の業績を有する。3. ドイツ語に熟達し、ドイツ語教育と研究指導に情熱と高い見識を有する。ドイツ語科目全体の構成企画・運営に実践的にあたることができる。4. ドイツ語圏及び広く世界に先進的な教育の場と先端的な研究の場をつくり出すことができる。自らの専門領域だけでなく、多様な研究活動をマネージし、国内外の研究者・研究機関とのコラボレーション活動に参加できる。5. 着任後、日本に在住し SFC に通勤できる。
日本語を母語とするか、母語話者並みの日本語能力を有する。 |
| 11. 書類提出締切 | 2017年10月6日（金）23:59 |

12. 採用時期 2018年4月
13. 応募書類 以下の書類一式をWEBエントリーシステムより電子媒体で提出。
書類1～4については全てPDF形式指定とする。
1. 履歴書（氏名、年齢、国籍、連絡先、学歴、職歴、専門領域、本人写真の含まれるもの）
 2. 業績一覧表（発表論文、書籍、口頭発表、担当講義等）
 3. 3～5点の主要論文の抜き刷りまたは制作物の写し
 4. これまでの研究教育内容の紹介、今後の研究教育に関する展望、SFCへの貢献の構想をまとめたもの。ドイツ語で作成のこと。字数は問わない。
 5. 2名の推薦者による推薦（WEBエントリーシステムより推薦者情報を登録、指定のURLより推薦文を入力）
- 教員公募WEBエントリーシステム
<https://vu5.sfc.keio.ac.jp/fr/apply.php>
14. 選抜プロセス及び採書類審査、第一次面接（模擬授業を含む場合もある）、第二次面接を経て採否の決定を行う。ただし、選考過程における採用決定に関する情報は非公開とする。なお採否は選考過程終了後、応募者各位に文書で通知する。
15. 問い合わせ先 (E-Mail) jinji-fro@sfc.keio.ac.jp
16. SFCについての情報 <http://www.sfc.keio.ac.jp/>

2017年6月
慶應義塾大学
総合政策学部長
環境情報学部長
政策・メディア研究科委員長